2021 年度京都大学微分積分学(演義) B (中安淳担当) 第 5 回 (2021 年 12 月 15 日) 問題

学籍番号: 氏名: 評価:

- 問題 1 -

方程式

$$f(x,y) = x^3 + y^3 - 3xy = 0$$

で表される xy 平面上の図形についてその上の点 $(x,y)=(\frac{4}{3},\frac{2}{3})$ での接線の方程式を求めよ。 ここで f(x,y)=0 の点 (a,b) での接線とは、(a,b) の近くで $y=\varphi(x)$ と陰関数表示されたときの $y=\varphi(x)$ の x=a での接線のことである。

2021 年度京都大学微分積分学(演義) B (中安淳担当) 第 5 回 (2021 年 12 月 15 日) 問題

学籍番号: 氏名: 評価:

- 問題 2 —

実数 x,y が px+qy=m, x>0, y>0 を満たしながら動くとき、次の関数 f(x,y) はある点において最大となる。ここではその最大が存在することを仮定して、最大となる点を Lagrange の未定乗数法を使って求めよ。

$$f(x,y) = x^a y^b.$$

ただし、p,q,m,a,b は正の定数である。